

常陸大宮・那珂地域 循環型社会形成推進地域計画

常陸大宮市

那珂市

大宮地方環境整備組合

平成29年1月11日

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項-----	1
(1)	対象地域 -----	1
(2)	計画期間 -----	1
(3)	基本的な方向 -----	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標 -----	3
(1)	生活排水の処理の現状 -----	3
(2)	生活排水処理の目標 -----	4
3	施策の内容 -----	5
(1)	発生抑制・再使用の推進 -----	5
(2)	処理体制 -----	5
(3)	処理施設等の整備 -----	6
(4)	施設整備に関する計画支援事業 -----	8
4	計画のフォローアップと事後評価 -----	9
(1)	計画のフォローアップ -----	9
(2)	事後評価及び計画の見直し -----	9
[添付資料]		
・添付資料 1 対象地域図 -----	10	
・添付資料 2 目標の設定に関するグラフ等 -----	11	
様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 -----	13	
・添付資料 3 地域内の施設位置図及び現有施設の状況-----	16	
・添付資料 4 下水道、農業集落排水施設及び 合併処理浄化槽設置整備区域図-----	18	
様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 -----	20	
様式 3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧-----	21	
事業番号 1 【参考資料様式 4】施設概要（し尿処理施設系）-----	22	
事業番号 2 【参考資料様式 5】施設概要（浄化槽系）-----	23	
計画支援概要【参考資料様式 6】-----	25	

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名： 常陸大宮市、那珂市

面 積： 446.18 km²

人 口： 100,855 人（平成26年3月31日現在）

(内訳)

市町村名	常陸大宮市	那珂市	計
面 積 (km ²)	348.38	97.80	446.18
人 口 (人)	44,968	55,887	100,855

(2) 計画期間

本計画は、平成27年4月1日から平成33年3月31日までの6年間を計画期間とし、計画目標年度を平成33年度とする。

ただし、那珂市については、本計画においての浄化槽設置整備の事業期間を平成31年度までと定めているため、計画目標年度は平成32年度とする。

現在、那珂市では公共下水道と農業集落排水施設の2施設の整備を地域再生法に基づく汚水処理施設整備交付金事業で行っているが、この交付金事業は2以上の交付対象施設の整備が要件となっている。

このため、那珂市では平成31年度で終了する農業集落排水施設の整備に代えて、公共下水道整備と合わせて平成32年度以降の浄化槽設置整備事業を汚水処理施設整備交付金事業で行うこととしている。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

常陸大宮市及び那珂市で構成する大宮地方環境整備組合（以下「本組合」という。）は、茨城県の北部、県庁所在地である水戸市の北に位置し、総面積は446.18km²で、茨城県全域面積の7.3%を占めており、清流で知られる久慈川及び那珂川が圏域内を通過している。

構成市のし尿処理は大宮地方環境整備組合の大宮地方広域衛生センター（以下「衛生センター」という。）（150kL/日：し尿120kL/日、浄化槽汚泥30kL/日）で処理を行っているが、昭和56年4月稼動開始以来34年を経過し、各設備の老朽化が進行していると共に、脱水汚泥を乾燥炉で乾燥しているため、温室効果ガスの発生が多い。また、建設当時に比べて浄化槽汚泥の搬入率が大きく増加した（稼働時10%が、現在83.7%）ことにより、処理機能に障害を与えている。

このような状況を踏まえて、現在想定されるし尿処理方式を技術、財政、環境の側面から整理・検討し、将来のし尿処理の最適化を目指し、常陸大宮・那珂地域循環型社会形成推進地域計画を策定するものである。

また、本組合構成市では公共下水道や農業集落排水処理施設の汚水処理事業も行っているが、処理施設への更なる接続推進をし、それ以外の個別処理区域においては、汲取り及び単独処理浄化槽からの生活雑排水による水質汚濁を削減する為に、合併浄化槽への整備転換を進めることとする。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水の処理の現状

平成 25 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥の排出量は図 1 のとおりである。

総人口、100,855 人のうち、汚水処理人口は 71,763 人、汚水処理人口普及率は 71.2% である。

し尿発生量は 5,539kL/年、浄化槽汚泥発生量は 25,636kL/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は 31,175kL/年である。

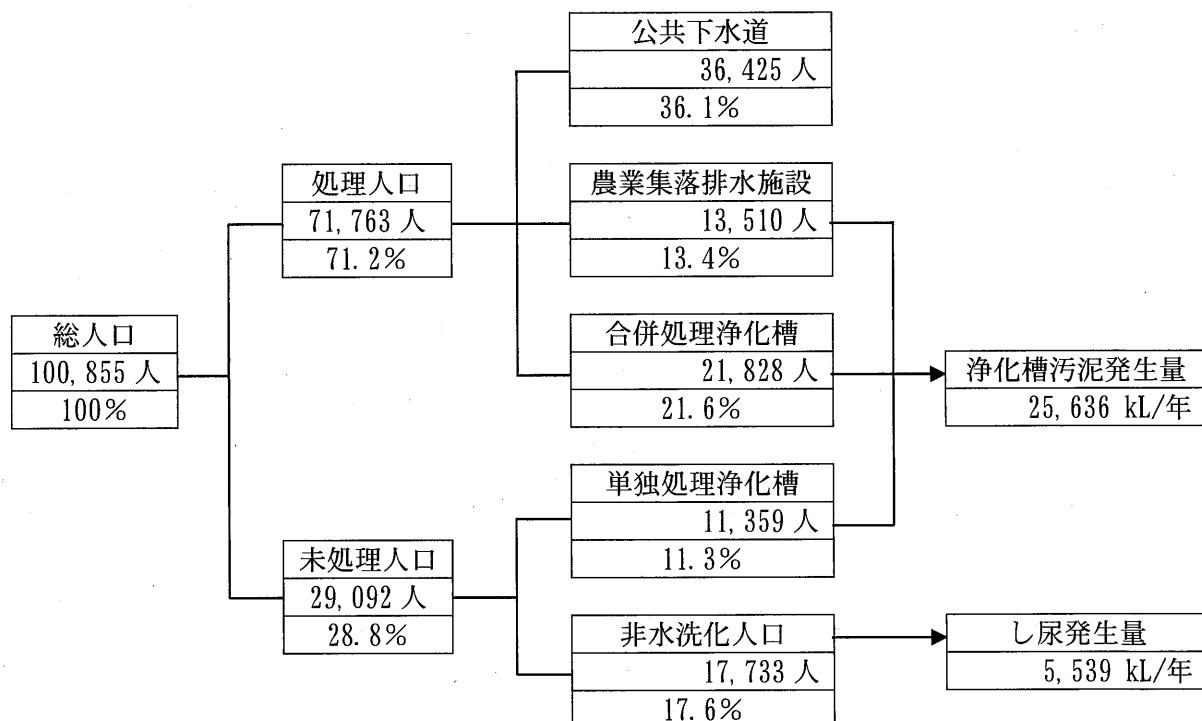


図 1 生活排水の処理状況フロー

(2) 生活排水処理の目標

イ 常陸大宮市

常陸大宮市の生活排水処理については、表1-1に掲げる目標のとおり、公共下水道及び合併処理浄化槽の普及促進を図るものとする。

表1-1 生活排水処理に関する現状と目標

		現状（平成25年度）	目標（平成33年度）
処理形態別人口	公共下水道	9,442 人 (21.0%)	11,125 人 (28.8%)
	農業集落排水施設	8,028 人 (17.9%)	6,985 人 (18.1%)
	合併処理浄化槽	12,155 人 (27.0%)	14,205 人 (36.7%)
	未処理人口	15,343 人 (34.1%)	6,345 人 (16.4%)
	合計	44,968 人	38,660 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	2,867 キロリットル	962 キロリットル
	浄化槽汚泥量	15,317 キロリットル	14,702 キロリットル
	合計	18,184 キロリットル	15,664 キロリットル

ロ 那珂市

那珂市の生活排水処理については、表1-2に掲げる目標のとおり、公共下水道及び合併処理浄化槽の普及促進を図るものとする。

表1-2 生活排水処理に関する現状と目標

		現状（平成25年度）	目標（平成32年度）
人口	公共下水道	26,983 人 (48.3%)	30,749 人 (57.5%)
	農業集落排水施設	5,482 人 (9.8%)	8,018 人 (15.0%)
	合併処理浄化槽	9,673 人 (17.3%)	7,255 人 (13.5%)
	未処理人口	13,749 人 (24.6%)	7,472 人 (14.0%)
	合計	55,887 人	53,494 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	2,672 キロリットル	1,189 キロリットル
	浄化槽汚泥量	10,819 キロリットル	8,666 キロリットル
	合計	12,991 キロリットル	9,855 キロリットル

ハ 組合

本組合の活排水処理については、表1-3に掲げる目標のとおりとする。

表1-3 生活排水処理に関する現状と目標

		現状（平成25年度）	目標（平成33年度）
人口	公共下水道	36,425 人 (36.1%)	42,562 人 (46.4%)
	農業集落排水施設	13,510 人 (13.4%)	14,931 人 (16.3%)
	合併処理浄化槽	21,828 人 (21.6%)	21,072 人 (23.0%)
	未処理人口	29,092 人 (28.8%)	13,110 人 (14.3%)
	合計	100,855 人	91,675 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	5,539 キロリットル	2,180 キロリットル
	浄化槽汚泥量	25,636 キロリットル	24,123 キロリットル
	合計	31,175 キロリットル	26,303 キロリットル

3 施策の内容

(1) 発生抑制・再使用の推進

ア 生活排水対策

良好な生活環境の確保と河川の汚濁防止の観点から、家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、構成市では下水道の整備及び接続の促進を行い、下水道計画区域外の地域については農業集落排水施設及び合併処理浄化槽の普及促進を図る。

なお、啓発活動としては、下水道及び合併処理浄化槽を利用することによる環境保全や発生源における水質保全対策について、広く知識・情報の提供を行う。

イ 環境教育の推進等

教育委員会、社会教育団体、小・中学校等と連携して幅広い世代に対応した効果的な環境学習を推進する。特に環境教育は学校教育の一環として位置づけられていることもあり、地球・生活・ごみの関係性等について、一人ひとりがすべきことを次世代を担う子供たちが理解をする機会を拡充する。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後

組合構成区域における生活排水処理の現状と今後について、整備手法別に以下の通り示す。

各処理方式における現況人口については、住民基本台帳人口による値である。

※公共下水道施設

公共下水道事業については、常陸大宮市、那珂市とも那珂久慈流域下水道の処理区域である。平成25年度における下水道水洗化人口は、常陸大宮市が9,442人、那珂市が26,983人、合計で36,425人である。

下水道は、市街地等人口密集地を中心に引き続き事業計画認可区域の整備・拡大を推進するとともに整備区域内の下水道接続率の向上を目指す。

※農業集落排水事業施設

農業集落排水事業は、常陸大宮市、那珂市ともに整備を行っており、平成25年度における整備人口は、常陸大宮市が8,028人、那珂市が5,482人、合計で13,510人である。

農業集落排水事業は、接続率の向上を進め、生活排水処理率の向上を目指す。

※合併処理浄化槽

常陸大宮市及び那珂市共に合併処理浄化槽による浄化槽整備を行っている。平成25年度現在の常陸大宮市の合併処理浄化槽人口は、12,155人、那珂市は9,673人、合計で21,828人である。

※単独処理浄化槽・非水洗化人口

単独処理浄化槽・非水洗化人口は、平成25年度時点で常陸大宮市が、15,343人、那珂市が13,749人、合計で29,092人いると推計される。このことから、全体の28.8%が生活排水処理施設未整備の状況である。

今後は、非水洗化住宅の合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽設置住宅の合併処理浄化槽への転換の啓発を行い、生活排水処理率の向上を目指す。

イ 今後の処理体制の要点

- ◆ 組合の衛生センターの基幹的設備改良事業を行うことにより、施設の延命を図ると共に、温室効果ガスの削減を図るものとする。
- ◆ 生活排水は、下水道、農業集落排水施設の整備を進めると共に合併処理浄化槽の設置または単独処理浄化槽からの転換を進める。

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

上記の(2)の生活排水処理体制により、引き続き発生するし尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を適切に処理するため、表2のとおり必要な施設整備を行う。

表2 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	し尿処理施設	大宮地方広域衛生センター基幹的設備改良事業	97kL/日 (150kL/日を縮小)	茨城県常陸大宮市小野2090-1	H29～H30

※ 現有処理施設の状況については、添付資料3に記載した。

(整備理由)

事業番号1：し尿処理施設の延命化及び温室効果ガス削減のため。

イ 合併処理浄化槽の整備

① 常陸大宮市

常陸大宮市の合併処理浄化槽の普及促進については、表3-1のとおり行う。

表3-1 合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業	直近の整備済基数(基) (平成25年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業期間
2	浄化槽設置整備事業	2,231	600	2,070	H27～H32
	浄化槽市町村整備推進事業	413	0	0	
	その他地方単独事業	8	0	0	
	合 計	2,652	600	2,070	

② 那珂市

那珂市の合併処理浄化槽の普及促進については、表3-2のとおり行う。

表3-2 合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業	直近の整備済基数(基) (平成26年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業期間
2	浄化槽設置整備事業	2,143	356	960	H28～H31
	浄化槽市町村整備推進事業	0	0	0	
	その他地方単独事業	0	0	0	
	合 計	2,143	356	960	

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表4のとおり計画支援事業を行う。

表4 実施する計画支援事業

事業番号	整備施設種類	事業名	事業期間
31	大宮地方広域衛生センター基幹的設備改良事業に係る施設整備基本設計等策定事業	基本設計等	H28
	大宮地方広域衛生センター基幹的設備改良事業に係る発注仕様書等作成事業	発注仕様書等	H28～H29
	大宮地方広域衛生センター基幹的設備改良事業に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H28～H29

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

構成市及び組合は、毎年、計画の進捗状況を把握し、必要に応じて計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間の最終年度において、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、結果が取りまとめた時点で、計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

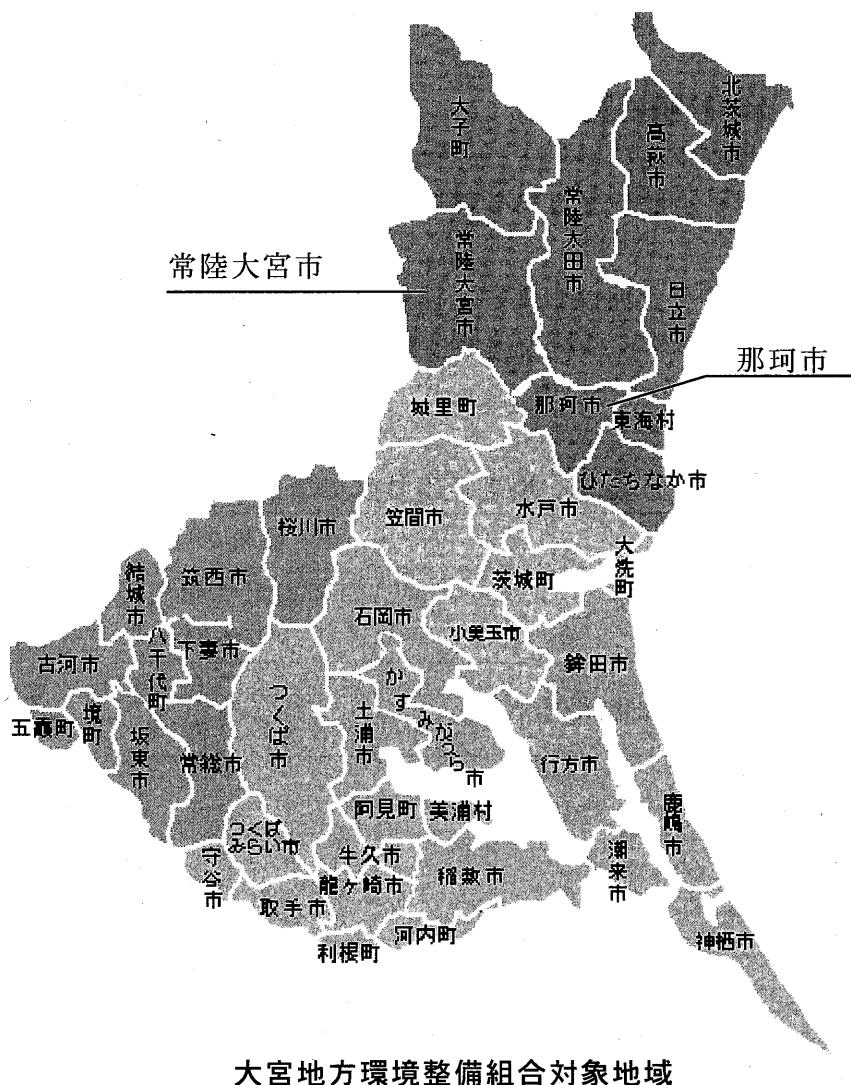
また、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

表5 事後評価の重点項目

	内 容	評価のポイント
1	汚水衛生処理率	下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽の普及に伴う汚水衛生処理率を評価する。
2	処理後汚泥の資源化状況	処理後の汚泥は、全量資源化することを基幹的設備改良事業の目的の一つとする。

添付資料1 対象地域図

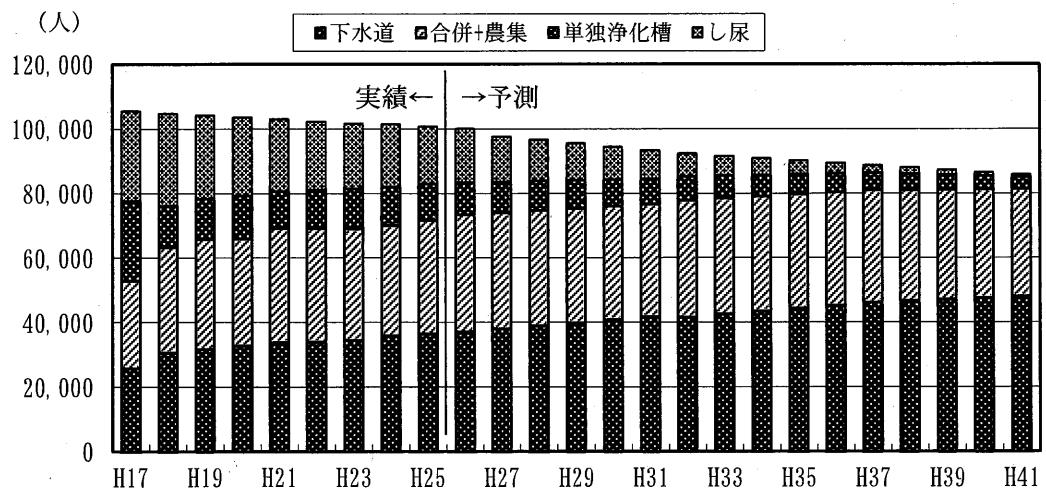


添付資料2 目標の設定に関するグラフ等

1 処理形態別人口の予測

大宮地方環境整備組合構成区域の処理形態別人口の予測結果は、次のとおりである。

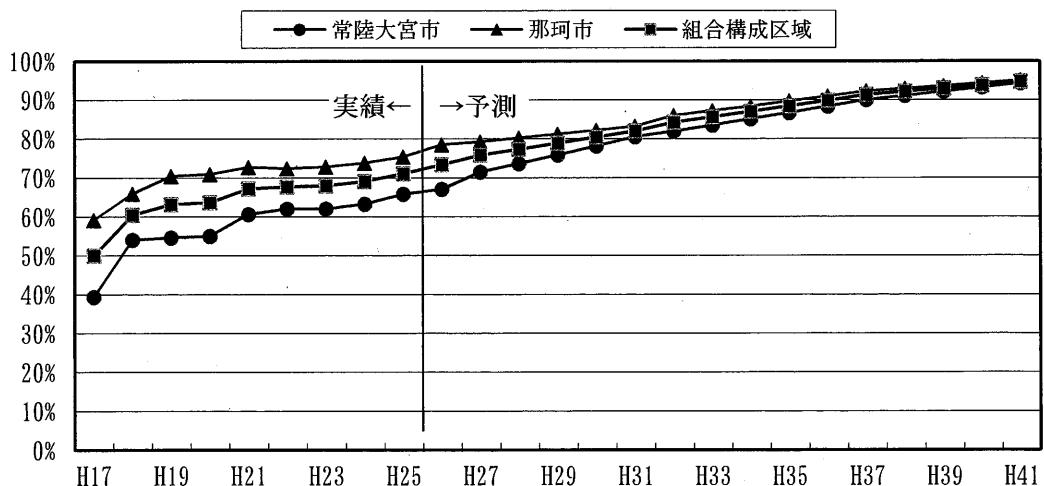
人口は減少傾向にある。下水道及び合併処理浄化槽人口（農業集落排水処理人口を含む）は増加し、単独処理浄化槽人口及び非水洗化人口は減少する。



2 汚水衛生処理率の予測

大宮地方環境整備組合構成区域の汚水衛生処理率の予測結果は、次のとおりである。

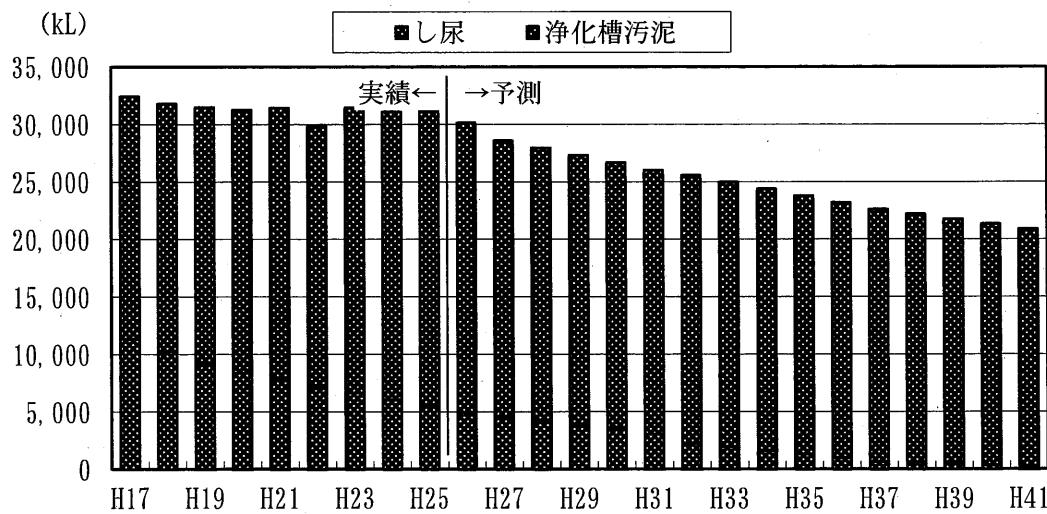
現在は、常陸大宮市の汚水衛生処理率が低いが、将来的には那珂市との差は縮まると予想される。



3 汚泥及びし尿量の予測

大宮地方環境整備組合構成区域の搬入汚泥量（農業集落排水施設、合併及び単独処理浄化槽汚泥の合計）及び搬入し尿量の予測結果は、次のとおりである。

現在でもし尿の割合は低い（平成 25 年度実績で 17.8%）が、計画目標年度の平成 33 年度は 7.9% となる。



様式1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1（平成27年度）

1 地域の概要

(1) 地域名	常陸大宮・那珂地域	(2) 地域内人口	100,855人	(3) 地域面積	446.18 km ²
(4) 構成市町村等名	常陸大宮市、那珂市、大宮地方環境整備組合	(5) 地域の要件*	○人口○面積○沖縄離島奄美豪雪山村半島○過疎その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合名：大宮地方環境整備組合 設立（予定）年月日：昭和36年1月10日 設立認可予定	組合を構成する市町村：常陸大宮市、那珂市			
* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目すべてに○を付ける。		共同処理事務：ごみ処理及び屎尿処理の広域化に関する事業ほか			

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状（排出量に対する割合）				目標
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
排出量	事業系 総排出量(トン)					平成33年度
	1事業所当たりの排出量(トントン)					
	家庭系 総排出量(トン)					
	1人当たりの排出量(kg/人)					
	合計 事業系家庭系排出量合計(トン)					
	直接資源化量(トン)					
	総資源化量(トン)					
再生利用量						
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)					
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)					
最終処分量	埋立最終処分量(トン)					

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容			備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定期	新設理由	型式及び処理方式	
し尿処理施設 (変更前・現状)	大宮地方環境整備組合	好気性消化処理+活性硝化液処理方式	有	150(kL/日)	S 56.4	—	—	—	—
し尿処理施設 (基幹改良後)	同上	標準懸垂素處理方式	有	97(kL/日)	—	—	施設の延命化及び調査効果ガス削減のため、基幹的設備改良事業を行う。	標準懸垂素處理方式	H31.3 97kL/日
焼却施設	同上	全連続式ストーカ炉	有	180t/日 (90t/24h×2)	H 2.4	—	—	—	—
粗大ごみ処理施設	同上	粗大・併用	有	35t/5hr	H 2.11	—	—	—	—

※計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したもの添付した。（添付資料3）

4-1 生活排水処理の現状と目標（組合構成区域）

指標・単位	過去の状況・現状					目標
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
総人口	103,087	102,283	101,723	101,505	100,855	91,675
公共下水道	汚水衛生処理人口	33,842	33,984	34,507	35,826	36,425
	汚水衛生処理率	32.8%	33.2%	33.9%	35.3%	36.1%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	12,794	12,688	12,543	13,935	13,510
	汚水衛生処理率	12.4%	12.4%	12.3%	13.7%	13.4%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	22,713	22,611	22,111	20,418	21,828
	汚水衛生処理率	22.0%	22.1%	21.7%	20.1%	21.6%
未処理人口	汚水衛生処理人口	33,738	33,000	32,562	31,326	29,092
						13,110

※別添資料として指標と人口の要因に関するトレンドグラフを添付した。（添付資料2）

4-2 生活排水処理の現状と目標（常陸大宮市）

指標・単位	過去の状況・現状					目標
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
総人口	46,977	46,334	45,888	45,519	44,968	38,660
公共下水道	汚水衛生処理人口	8,001	8,143	8,350	8,843	9,442
	汚水衛生処理率	17.0%	17.6%	18.2%	19.4%	21.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	7,694	7,854	7,714	8,473	8,028
	汚水衛生処理率	16.4%	17.0%	16.8%	18.6%	17.9%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	12,805	12,776	12,431	11,501	12,155
	汚水衛生処理率	27.3%	27.6%	27.1%	25.3%	27.0%
未処理人口	汚水衛生処理人口	18,477	17,561	17,393	16,702	15,343
						6,345

4－3 生活排水処理の現状と目標（那珂市）

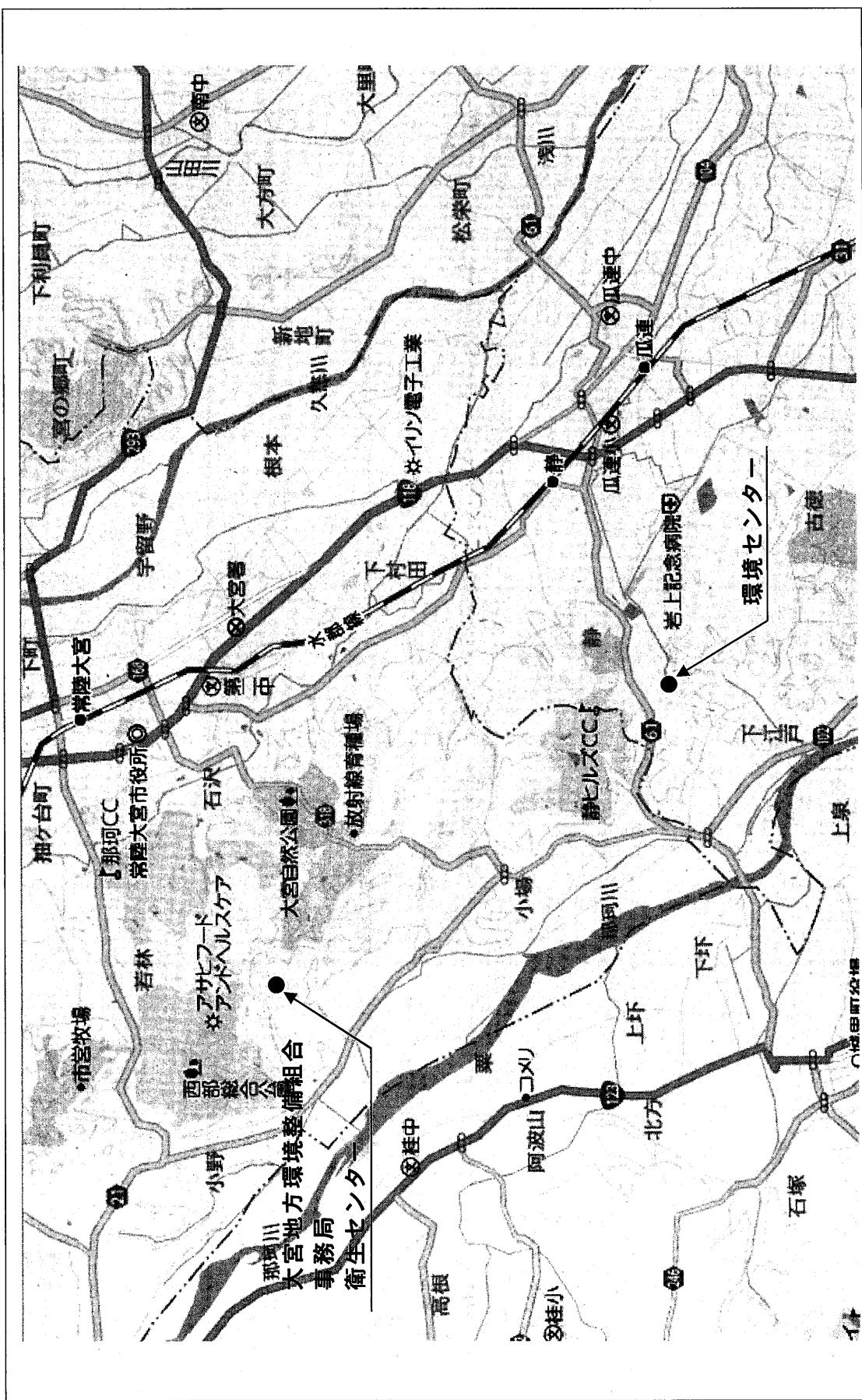
指標・単位	過去の状況・現状					目標
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
総人口	56,110	55,949	55,835	55,986	55,887	53,494
公共下水道	汚水衛生処理人口	25,841	26,157	26,983	26,983	30,749
	汚水衛生処理率	46.1%	46.2%	46.8%	48.2%	48.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	5,100	4,834	4,829	5,462	5,482
	汚水衛生処理率	9.1%	8.6%	8.6%	9.8%	9.8%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	9,908	9,835	9,680	8,917	9,673
	汚水衛生処理率	17.7%	17.6%	17.3%	15.9%	17.3%
未処理人口	汚水衛生処理人口	15,261	15,439	15,169	14,624	13,749
						7,472

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基 数	処理人口	開始年月	基 数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	常陸大宮市	2,231	7,832	平成 3 年 4 月	600	2,070	H33 年度	
	那珂市	* 2,143	5,784	平成 5 年 4 月	356	960	H32 年度	

* 那珂市の数値は、平成26年度分を示す。

添付資料3 地域内の施設位置及び現有施設の状況



現有施設の状況

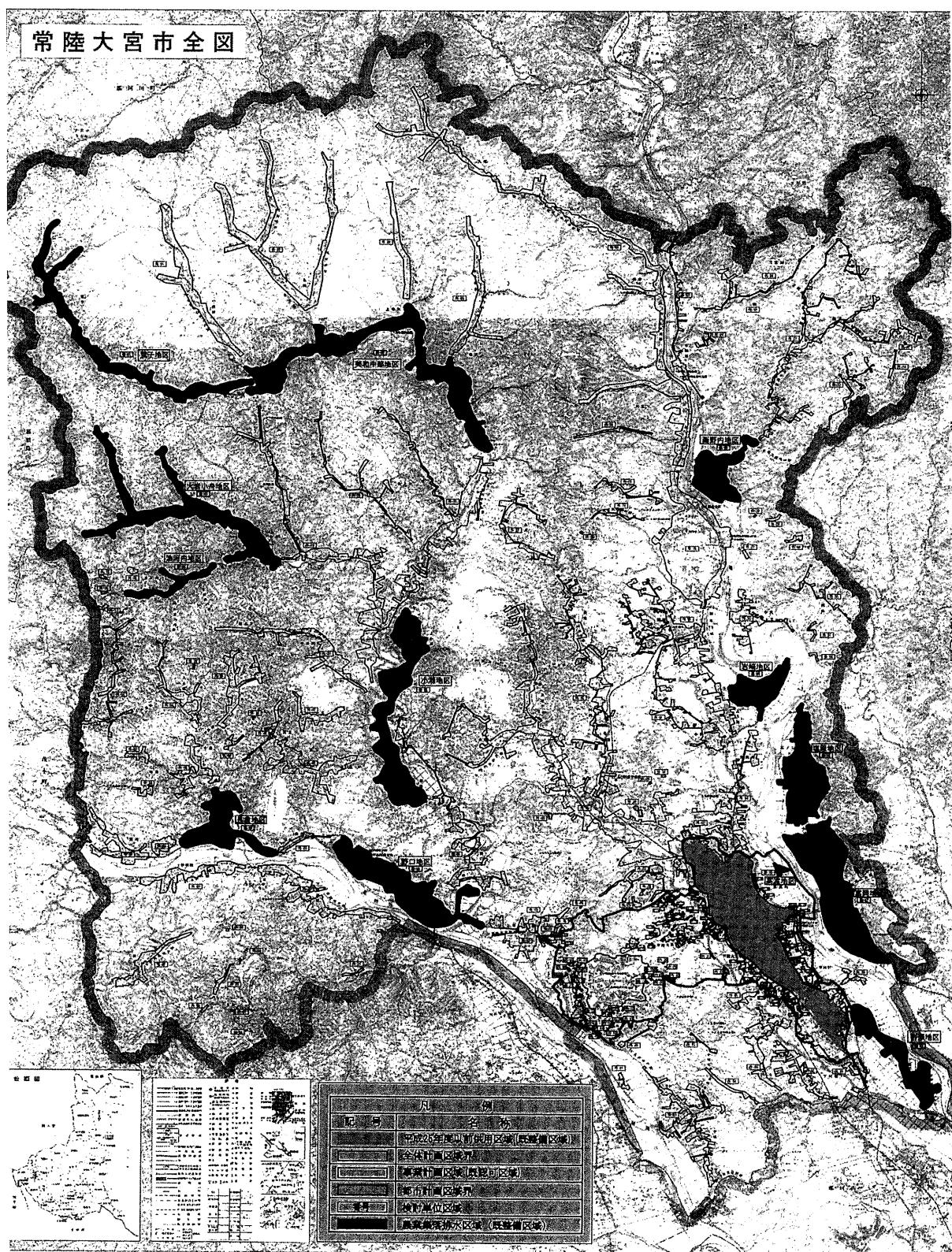
本組合の現有施設の状況は、次のとおりである。

施設名称	大宮地方広域衛生センター				
施設所管	大宮地方環境整備組合				
所在地	〒319-2133 茨城県常陸大宮市小野 2090-1 Tel 0295-52-3535 Fax 0295-53-5794				
計画処理能力	150kL/日 (し尿: 120kL/日、浄化槽汚泥: 30kL/日)				
建設経過	建設工事	着工: 昭和 53 年 11 月 設計: 有限会社 水工エンジニアリング			
		竣工: 昭和 56 年 3 月 施工: 栗田工業 株式会社			
	改造工事	平成 7 年度～平成 9 年度			
処理方式	主処理 : 好気性消化処理 + 活性汚泥法処理方式 高度処理 : 凝集沈殿 + 砂ろ過 + 活性炭吸着 汚泥処理 : 脱水 → 乾燥 → 場外搬出 臭気処理 : 高濃度臭気 → 消化槽・曝気槽へ吹込 中濃度臭気 → 水洗浄 低濃度臭気 → 水洗浄				
希釈水の種類	井水				
し渣処分方法	脱水し渣を場外搬出 → 環境センターで焼却処理				
汚泥処分方法	乾燥汚泥を場外搬出 (農地還元)				
放流水質	放流先		一級河川 那珂川		
	項目		排水基準値 保証値		
	pH	5.8～8.6	5.8～8.6		
	BOD (mg/L)	30 以下	10 以下		
	COD (mg/L)	—	10 以下		
	SS (mg/L)	70 以下	5 以下		
	T-N (mg/L)	—	—		
	T-P (mg/L)	—	—		
	色度 (度)	—	15 以下		
	大腸菌群数 (個/cm ³)	3,000 以下	3,000 以下		
敷地面積	34,160 m ²				
建物面積	2,548.34 m ²				
建設費	建設工事 2,532,761 千円				
	改造工事 422,066 千円				

添付資料4 下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽設置整備区域図

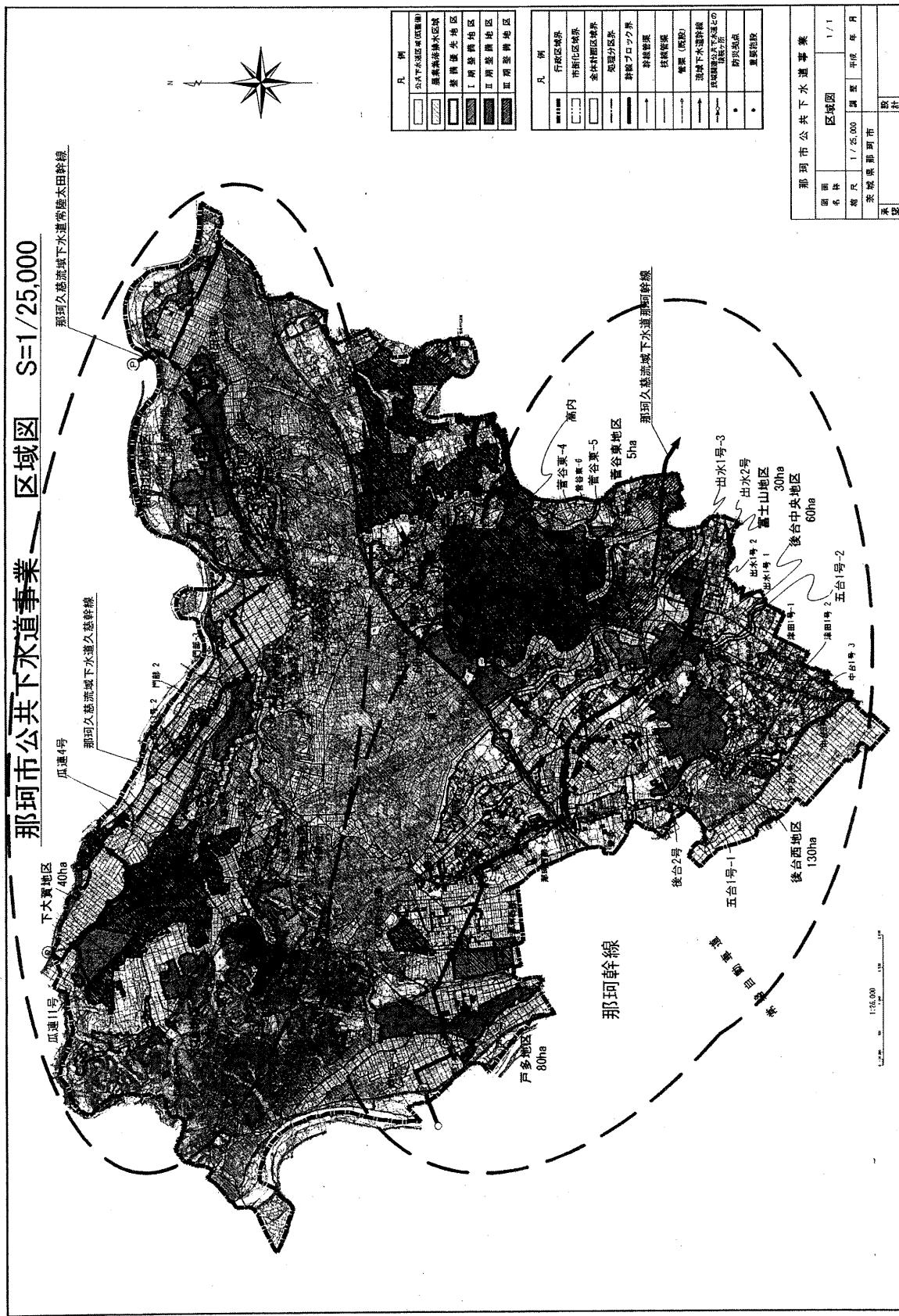
(1) 常陸大宮市

常陸大宮市の下水道及び農業集落排水施設整備区域を次の図に示す。これらの区域以外は合併処理浄化槽設置整備区域である。



(2) 那珂市

那珂市の下水道及び農業集落排水施設整備区域である。



循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成27年度)

事業種別	事業番号※1	事業主体名※2	規模	事業期間交付期間	総事業費(千円)						交付対象事業費(千円)										
					単位	開始	終了	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
○し尿処理に関する事業								390,000	0	0	120,000	270,000	0	0	312,000	0	0	96,000			
衛生センター 基幹的設備 偏重改良事業	1	大宮地方環境整備組合	150 kJ/日	H29 H30	390,000	0	0	120,000	270,000	0	0	312,000	0	0	96,000	216,000	0	0			
○浄化槽に関する事業								276,486	26,328	48,666	57,331	57,331	29,498	276,486	26,328	48,666	57,331	57,331	29,498		
浄化槽設置整備	2	常陸大宮市	600 基	H27 H2	165,150	26,328	20,832	23,497	29,498	29,497	29,498	165,150	26,328	20,832	23,497	29,497	29,498	29,498			
浄化槽設置整備	2	那珂市	356 基	H28 H31	111,336	0	27,834	27,834	27,834	27,834	0	111,336	0	27,834	27,834	27,834	27,834	0			
○施設整備に関する請画支援 団体に関する事業								13,800	0	11,700	2,100	0	0	13,800	0	11,700	2,100	0	0		
施設整備基本計画等策定事業	31	大宮地方環境整備組合		H28	5,700	0	5,700	0	0	0	0	5,700	0	5,700	0	0	0	0			
沿住仕様書作成事業	31	大宮地方環境整備組合		H28 H29	3,600	0	2,400	1,200	0	0	0	- 3,600	0	2,400	1,200	0	0	0			
生活環境影響調査事業	31	大宮地方環境整備組合		H28	4,500	0	3,600	900	0	0	0	4,500	0	3,600	900	0	0	0			
合 計								680,286	26,328	60,366	179,431	327,332	57,331	29,498	602,286	26,328	60,366	155,431	273,332	57,331	29,498

※2 一部事務組合等についても、備考欄に構成する市を注記した。

様式 3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

種施策別	事業番号 ※ 1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金必要の要否	事業計画						備考	
					開始	終了		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
発生抑制、再使用に関するもの	11	生活排水対策	良好な生活環境の確保と河川及び湖沼の汚濁防止のため、下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の普及促進を図る	常陸大宮市	27	32	否	広報、パンフレット、ホームページ等							
				那珂市	28	31	否	前計画	広報、パンフレット、ホームページ等						
	12	環境教育普及の推進	教育委員会、社会教育団体、小・中学校等と連携し、効果的な環境学習を推進する。	常陸大宮市	27	32	否	普及啓発活動							
				那珂市	28	31	否	前計画	普及啓発活動						
処理体制の構築、変更に関するもの	21	生活排水処理の現状と今後	下水道及び合併処理浄化槽設置を推進する。	常陸大宮市	27	32	否	広報、パンフレット、ホームページ等							
				那珂市	28	31	否	前計画	広報、パンフレット、ホームページ等						
	22	下水道整備の推進	下水道計画の推進を図り、下水道接続家庭を増やす。	常陸大宮市	27	32	否	事業実施							
				那珂市	28	31	否	前計画	事業実施						
	23	合併処理浄化槽への転換推進	単独処理浄化槽家庭に対して合併処理浄化槽への転換を進める。	常陸大宮市	27	32	否	事業実施							
				那珂市	28	31	否	前計画	事業実施						
処理施設の整備に関するもの	1	衛生センター基幹的設備改良事業	し尿処理施設の延命化及び温室効果ガス削減	組合	29	30	要	工事							
	2	合併処理浄化槽	合併処理浄化槽	常陸大宮市	27	32	要	合併処理浄化槽整備実施							
			合併処理浄化槽	那珂市	28	31	要	前計画	合併処理浄化槽整備実施						
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1 の計画支援	基本設計等 発注仕様書等 生活環境影響調査	組合	28	29	要	基本設計等 発注仕様 生活環境影響調査							

*1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文 3 (3) 表 2、表 3 及び (4) 表 4 に示す事業番号と一致させること。

事業番号－1

【参考資料様式4】

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 茨城県

(1) 事業主体名	大宮地方環境整備組合	
(2) 施設名称	大宮地方広域衛生センター	
(3) 工期	平成29年度～平成30年度	
(4) 施設規模	処理能力 現在150 kL/日を 97kL/日に変更	
(5) 形式及び処理方式	現在の（好気性消化処理+活性汚泥法処理方式）を標準脱窒素処理方式に変更	
(6) 地域計画内の役割	施設の長寿命化によるし尿・浄化槽汚泥、農業集落排水施設汚泥の適正処理と、余剰汚泥を乾燥処理から堆肥化処理にすることによる温室効果ガスの削減と資源循環型社会の形成を推進する。 本計画により15%以上のCO ₂ を削減する予定である。	
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有	無

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	
(9) 資源化物の利用計画	

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	
(11) 計画地域の性格	

(12) 事業計画額	390,000 千円	うち交付対象	312,000 千円
------------	------------	--------	------------

事業番号－2

【参考資料様式5】

施設概要(浄化槽系)

都道府県名 茨城県

(1) 事業主体名	常陸大宮市	
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業	
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、浄化槽の設置に要する費用の一部を補助する。	
(4) 事業期間	平成27年度～平成32年度	
(5) 事業対象地域の要件	常陸大宮市浄化槽設置事業費補助金交付要綱 第3条別表第1の地域 ・下水道法第4条第1項の許可を受けた地域ならびに、農業集落排水事業採択推進地区と決定した区域以外の地域。 ・下水道認可区域ならびに農業集落排水事業採択区域内の地域であって、市長が特に必要があると認める地域。	
(6) 事業計画額	交付対象事業費 うち ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業係る事業費 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費	165,150 千円 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基數 (2,070) 人分	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	360 基 (1,080) 人分	72 基	91,800	91,800	91,800
6～7人槽	210 基 (840) 人分	42 基	61,740	61,740	61,740
8～10人槽	30 基 (150) 人分	6 基	11,610	11,610	11,610
11～20人槽	基 () 人分	基			
21～30人槽	基 () 人分	基			
31～50人槽	基 () 人分	基			
51人槽以上	基 () 人分	基			
改築	基	基			
計画策定調査費					
合計	600 基 (2,070) 人分 改築を除く	120 基	165,150	165,150	165,150

○ 事業対象地域が「経済的・効果的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

(複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること)

市町村総人口 _____ 市町村世帯数 _____

対象地域人口 _____ 対象地域世帯数 _____

	総建設費	1年当たり建設費	1年当たり維持管理費	1年当たりコスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

施設比較検討の積算内容の資料を添付（様式は自由）

事業番号－2

【参考資料様式5】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 茨城県

(1) 事業主体名	那珂市		
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業		
(3) 事業の実施目的及び内容	市内に現存する単独処理浄化槽及びくみ取式便槽では処理することができない生活雑排水が河川や湖沼の水質汚濁の主な原因であることが考えられるため、合併処理浄化槽への切替えを促進していく。		
(4) 事業期間	平成28年度～平成31年度		
(5) 事業対象地域の要件	浄化設置整備事業実施要綱第3の(1)のアの(イ)、イの(イ)に該当		
(6) 事業計画額	交付対象事業費 うち ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費	111,336 千円 千円 千円	

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (960) 人分	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	256 基 (691) 人分	基	75,264	75,264	75,264
6～7人槽	84 基 (226) 人分	基	28,728	28,728	28,728
8～10人槽	16 基 (. 43) 人分	基	7,344	7,344	7,344
11～20人槽	基 () 人分	基			
21～30人槽	基 () 人分	基			
31～50人槽	基 () 人分	基			
51人槽以上	基 () 人分	基			
改築	基	基			
計画策定調査費					
合計	356 基 (960) 人分 改築を除く	基	111,336	111,336	111,336

○ 事業対象地域が「経済的・効果的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口

市町村世帯数

対象地域人口

対象地域世帯数

	総建設費	1年当たり建設費	1年当たり維持管理費	1年当たりコスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

施設比較検討の積算内容の資料を添付（様式は自由）

【参考資料様式6】

計画支援概要

都道府県名 茨城県

(1) 事業主体名	大宮地方環境整備組合		
(2) 事業目的	大宮地方広域衛生センター 基幹的設備改良事業のため		
(3) 事業名称	大宮地方広域衛生センター基幹的設備改良事業に係る施設整備基本設計等策定事業	大宮地方広域衛生センター基幹的設備改良事業に係る発注仕様書等作成事業	大宮地方広域衛生センター基幹的設備改良事業に係る生活環境影響調査事業
(4) 事業期間	H28	H28～H29	H28～H29
(5) 事業概要	・施設整備基本設計策定	・見積発注仕様書作成 ・発注仕様書（要求水準書）作成	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく生活環境影響調査

(6) 事業計画額	5,700 千円	3,600 千円	4,500 千円
	うち交付金対象事業額	うち交付金対象事業額	うち交付金対象事業額
	5,700 千円	3,600 千円	4,500 千円

